

妙蓮寺 横浜市都筑区川和町 977

武蔵風土記によると、今から七百年前、室町時代初期康永三年(1344)に日蓮聖人の孫弟子にあたる越中阿闍梨朗慶上人が草庵を構え開山されました。その後、当時の江戸谷中感応寺の日耀上人により再興され、享禄三年(1530)、山腹の庵を現在の地に移転し、城根山妙蓮寺と称するようになりました。元文年間(1730)頃には火災によって全てを失いましたが、寛政五年(1793)に本堂を再建、文政九年(1826)に祖師堂(日蓮聖人像)を再建されました。山号を城根山と号し本尊は久遠実成本師釈迦牟尼仏で身延山久遠寺を総本山とする日蓮宗に属する。都筑区内唯一の日蓮宗のお寺です。本堂・釈迦堂・鐘楼堂に加え、近年になり始祖堂(日蓮聖人像)や七面堂(七面大明神)が新築されました。敷地内には横浜市古木にも指定されているイチョウやケヤキなどの樹々は横浜市古木にも指定されており、妙蓮寺の歴史の長さを物語っている。



道路に大きな看板が



参道から山門が見える



六地蔵が迎えてくれる



山門も立派



山門を潜ると鐘楼



親鸞聖人



本殿



本殿上には立派な龍の彫刻



鬼瓦も大きい



見事な大イチョウとケヤキ